

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。  
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。  
謹白

### 記

■ 变更日期 2022年10月3日(月) ご報告分より

### ■ 対象項目

項目コード	検査項目
27049	sd LDL-C (健診)

### ■ 変更内容

測定試薬が体外診断用医薬品として承認を受けました。これに伴い、基準値が将来の冠動脈性心疾患(CHD)発症リスクの高低を判定するための臨床カットオフ値35mg/dLに変更となります。健診基準値においては、臨床カットオフ値35mg/dLを含めた4区分の健診基準値への改訂がされましたので、それに合わせ、サービス報告書の判定基準を変更いたします。また、日本人間ドッグ学会の判定区分改定に伴い、区分の変更、説明文については表現の変更を実施いたします。

変更点	新		現	
	判定 sdLDL-C 値	説明文	判定 sdLDL-C 値	説明文
判定/ sdLDL-C 値/ 説明文	異常なし 25mg/dL 未満	sd LDL-C 値は異常ありません。今後も正しい食習慣・運動習慣を継続してください。	正常 30.0mg/dL 未満	sd LDL-C 値は正常領域です。今後も正しい食習慣・運動習慣を継続してください。
	軽度異常 25~ 34.9mg/dL	sd LDL-C 値が少し高めです。生活習慣の改善による数値の低下を目指してください。 (裏面参照)	軽度異常 30.0~ 39.9mg/dL	sd LDL-C 値がやや高いです。裏面資料をご参考にし、生活習慣の改善による数値の低下を目指してください。



	要再検査・生活改善 35~44.9mg/dL	sd LDL-C 値が高いです。生活習慣改善とともに、他の脂質検査や基礎疾患の有無を含め総合的に判断が必要です。循環器専門医への受診をお勧めします。	要経過観察 40.0~49.9mg/dL	sd LDL-C 値が高いです。中性脂肪や LDL-コレステロールの値も高ければ循環器専門医の受診をお勧めします
	要精密検査・治療 45mg/dL 以上	sd LDL-C 値がかなり高いです。動脈硬化性疾患の検査を含め、循環器専門医への受診を強くお勧めします。	要治療 50.0mg/dL~	sd LDL-C 値がかなり高いです。動脈硬化を引き起こすリスクが高いため、中性脂肪や LDL-コレステロールも高ければ、循環器専門医を受診してください。
監修 (表面)	東京医科歯科大学病院 保険医療管理部 藍 真澄 先生		東京医科歯科大学医学部附属病院 保険医療管理部 藍 真澄 先生	
参考文献	中村 麻里衣 先生(東京医科歯科大学), 他:新薬と臨牀 71(1):3~12, 2022.		今岡 渉 先生(関西労働保健協会), 他:新薬と臨牀 67(6):82~93, 2018.	
監修 (裏面)	海老名総合病院 糖尿病センター センター長 平野 勉 先生		昭和大学病院附属 昭和大学東病院 糖尿病・代謝・内分泌科 平野 勉 先生	

## 報告書見本

### (新サービス報告書見本)

sd LDL-C (健診) 検査報告書

今回の検査結果は **45.0** となります。

判定	説明	血管のイメージ
正常 30.0mg/dL未満	sd LDL-Cは正常範囲です。今後も正しい生活習慣・運動習慣を継続してください。	
軽度異常 30.0~39.9mg/dL	sd LDL-C値がやや高いです。脂質検査をご依頼し、生活習慣の改善による動脈硬化の予防をお願いします。	
中度異常 40.0~49.9mg/dL	sd LDL-C値が高いです。中性脂肪やLDL-コレステロールの値も高ければ循環器専門医の受診をお勧めします。	
要治療 50.0mg/dL~	sd LDL-C値がかなり高いです。動脈硬化を引き起こすリスクが高いため、「生活習慣の改善」に加え、薬物療法を実施してください。	

監修: 東京医科歯科大学病院 保険医療管理部 藍 真澄 先生  
参考文献: 中村 麻里衣 先生(東京医科歯科大学), 他:新薬と臨牀 71(1):3~12, 2022.  
本報告書は、複製・転載としてご利用いただくことはできません。

sd LDL-Cは、**超悪玉コレステロール**と呼ばれ、心筋梗塞や脳梗塞の原因となる動脈硬化を引き起こす物質です。この数値が高いほど、リスクが高まります。

～生活習慣改善のポイント～

**食事**  
1日3度の食事をきちんとって、間食や夜食をひかえましょう。

**運動**  
有酸素運動を継続的に行いましょう。継続的な運動はsd LDL-Cを減らす効果があります。運動の種類としては、ウォーキングなどの有酸素運動が効果的です。

**喫煙**  
禁煙を行い、受動喫煙の回避をお勧めいたします。喫煙・受動喫煙は動脈硬化の原因を引き起こすもっとも大きな要因のひとつです。

担当医師にご相談ください

すでに何らかの病気を治療中の方は食事・運動について必ず担当医師にご相談ください。  
\*定期的にsd LDL-Cを測定し、前回の検査結果と比較して数値が下がっているか、確認するようお願いします。  
\*喫煙が原因でsd LDL-Cが高くなる場合があります。禁煙することで数値が下がります。

監修: 海老名総合病院 糖尿病センター センター長 平野 勉 先生

### (現サービス報告書見本)

sd LDL-C (健診) 検査報告書

今回の検査結果は **45.0** となります。

判定	説明	血管のイメージ
正常 30.0mg/dL未満	sd LDL-Cは正常範囲です。今後も正しい生活習慣・運動習慣を継続してください。	
軽度異常 30.0~39.9mg/dL	sd LDL-C値がやや高いです。脂質検査をご依頼し、生活習慣の改善による動脈硬化の予防をお願いします。	
中度異常 40.0~49.9mg/dL	sd LDL-C値が高いです。中性脂肪やLDL-コレステロールの値も高ければ循環器専門医の受診をお勧めします。	
要治療 50.0mg/dL~	sd LDL-C値がかなり高いです。動脈硬化を引き起こすリスクが高いため、「生活習慣の改善」に加え、薬物療法を実施してください。	

監修: 東京医科歯科大学医学部附属病院 保険医療管理部 藍 真澄 先生  
参考文献: 中村 麻里衣 先生(東京医科歯科大学), 他:新薬と臨牀 67(6):82~93, 2018.  
本報告書は、複製・転載としてご利用いただくことはできません。

sd LDL-Cは、**超悪玉コレステロール**と呼ばれ、心筋梗塞や脳梗塞の原因となる動脈硬化を引き起こす物質です。この数値が高いほど、リスクが高まります。

～生活習慣改善のポイント～

**食事**  
1日3度の食事をきちんとって、間食や夜食をひかえましょう。

**運動**  
有酸素運動を継続的に行いましょう。継続的な運動はsd LDL-Cを減らす効果があります。運動の種類としては、ウォーキングなどの有酸素運動が効果的です。

**喫煙**  
禁煙を行い、受動喫煙の回避をお勧めいたします。喫煙・受動喫煙は動脈硬化の原因を引き起こすもっとも大きな要因のひとつです。

担当医師にご相談ください

すでに何らかの病気を治療中の方は食事・運動について必ず担当医師にご相談ください。  
\*定期的にsd LDL-Cを測定し、前回の検査結果と比較して数値が下がっているか、確認するようお願いします。  
\*喫煙が原因でsd LDL-Cが高くなる場合があります。禁煙することで数値が下がります。

監修: 昭和大学病院附属 昭和大学東病院 糖尿病・代謝・内分泌科 平野 勉 先生